

保護者の皆様

高槻市立芥川幼稚園

## 芥川幼稚園 教育アンケートの報告

教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度は自由記述欄を設け、要望などを聞かせていただく形式にしたことで、具体的な思いが寄せられました。保護者の皆様の幼稚園教育に対する願いを感じ取ることができました。そして一人一人のお子さまが大切に育てられていることを感じることができました。今後もお子様の成長を願い、幼稚園・家庭・地域がともに手をつなぎ、幼稚園教育の充実に努力していきたいと思えます。つきましては、教育アンケートご協力のお礼と報告をさせていただきます。

回収率	92.3%	・・・	調査人数(65人)	回収人数(60人)
-----	-------	-----	-----------	-----------

### 【お子様について】

「幼稚園に行くことが楽しい」「入園後友達とよく遊ぶようになった」では「思う」「ややそう思う」の肯定的な回答となり、子どもたちが幼稚園を大好きで、友達とのかかわりを楽しいと感じているということが、何よりも嬉しく思います。

「自分のことを自分でしようとする」自立心、「して良いこと・悪いこと」の判断する力、「約束を守って遊ぶことができる」「ありがとうごめんなさいが言える」などの、社会性や規範意識が育ちにつながる間に対しては、肯定的な意見と少数ながらもそう思わないという回答も見受けられました。子どもたちが自分できるように大人がモデルとなり、見守ることの大切さを改めて感じます。

### 【保護者の方について】

全体的に肯定的な回答をいただきました。「子どもとの触れ合う時間」「挨拶や身の回りのこと、基本的な生活習慣」などは、毎日の積み重ねが、子どもたちの成長につながります。それらを皆さんが意識されているのだと読み取ることができました。子ども達の情緒の安定はここからきているのだと感じさせられました。

「また子育てが楽しい」「子育ての相談者がいる」「PTA活動や保護者会に積極的参加」「幼稚園の行事や教育活動に協力」などでは、少数ではありますが、あまり思わないという回答がありました。保護者同士のつながりの場を設けることや、思いにいつでも寄り添える場となれるよう、PTA活動及びボランティア、子育てサロンなどを実施していますが、日々交流をすることも大切と考えています。交流の在り方は、その年や時期により、どのような形が、皆さんに寄り添えるのかを考えていくことが必要だと感じました。

「預かり保育や延長保育を積極的に利用したい」では、「そう思う」が72%で昨年度より上昇しています。就労支援型の預かり保育や高槻市が子育て支援の一環として行っている「なかよしタイム」の利用も常に定員に達しており、回数を増やしてほしいとの声も頂いています。

### 【園について】

「遊びを中心に実体験を大切にされた教育活動に取り組んでいる」では、皆様に肯定的な回答をいただきました。目に見えにくい部分ではありますが、幼稚園教育の根幹となる部分ですので、励みになります。今後も研鑽していきたいと改めて感じさせられました。

安全指導や外部侵入者対策の項目では、心配な声が寄せられています。子ども達へは、日ごろから安全に過ごすための方法を伝え、「なぜそうするのか？」ということ、継続して伝えていきたいと思えます。

園門の施錠や来園者の管理などについては、各地で心が痛む事案が起き、安全への意識が高まってきておりま

す。幼稚園は万全の対策をとると同時に、保護者の方のご協力も欠かせません。共に安全への意識を高めていきましょう。

感染症対策についての項目もありました。まだまだ感染症の終わりは見えません。手洗いうがいの励行、マスクの着用を促すとともに、園内の消毒も継続して行います。

少しずつ生活スタイルが変わりつつありますが、今後も子ども達にとって、よりよい園生活が送れるように、教職員一同奮起してまいります。今後ご理解、ご支援よろしくお願ひいたします。

【本園を選択された理由について】※複数回答可

保育内容が良いが83%と一番多く、何よりも励みになる回答をいただきました。次いで自宅から近いという回答が75%で、地域の中にある幼稚園の役割は大きいと感じております。

これからの時代を生きる子どもたちの育ちに何が大切で何が必要かを、考えていきたいと思っています。また一人一人の教師の人間力も高めていき、今後も努力を怠らず、幼稚園教諭としての質の向上に努めてまいりたいと思っています。

【その他 自由記述】 ※複数意見があった項目を載せています。

- ・保育内容が伝わりにくい（預かり保育も含む）

→登降園やげんきクラブのお迎えの時間、クラスだよりなどをさらに活用し伝えていくと同時に、いつでも伝え合える雰囲気や場作りをしていきたいと思ひます。

- ・クラスや学年での活動を増やしてほしい

→年間計画に基づき、月や週ごとにクラスや学年で保育のねらいをもって保育を進めています。

計画をもとに進めますが、目の前にいる子どもたちの姿や育ちにに応じて、活動内容を考えていきます。

- ・園門の施錠、園の前の道路や園南側通路は危険を感じる。交通安全指導など実施してはどうか。

→門の施錠については、登降園時以外は施錠を強化しております。登降園時には、園門で見守りをさせていただいています。道路や通路などの安全も見守っていくと同時に、保育の中で子どもたちにも伝えていきたいと思ひます。保護者の皆様のご協力もよろしくお願ひします。

- ・PTA活動を簡略化やボランティアや有志にしてはどうか

→子育てや家事、仕事をしながらのPTA活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。PTAの活動に関しては、様々なご意見があると思ひますが、PTA組織を園独自で変えることは難しいです。しかし活動内容や会議の持ち方、役員数などについては、PTA会員である保護者の皆さんの意見を取り入れながら、変えていくことは可能です。その年の状況に応じて、決して負担にならないようなPTAであることを願ひます。

- ・職員の異動や退職を事後報告ではなく、別れの挨拶ができるような場をつくってほしい

→異動や退職を含め、次年度の体制が決定するのは例年3月末で、春休みに入っています。高槻市立幼稚園では、全園で同様の対応をとっております。今後、変更が生じればお伝ひします。

その他多数のご意見をありがとうございました。今後の園運営に反映させていただきます。

今年度の幼稚園評議員の皆様、アンケートの結果を報告し、ご意見をいただきました。  
今後の園運営に、活かしていきたいと思っています。

☆評議員の紹介☆

高槻市立芥川小学校校長

お話ボランティア

芥川地区民生児童委員主任児童委員

<評議員の皆様のご意見>

- 幼稚園や小学校の子どもたちと関わる機会の中で、教師が子どもの主体性を大切にしようという気持ちは大切であるのではないかと。幼稚園の運動会などで、そのような場面を見ることができた。また、その場面を見守る保護者の姿も印象的で、保護者が自分の子どものことだけでなく、幼稚園の子どもを皆が知るようになっていると感じた。
- いつも大人がそばにいるわけではない。子どもたちが「自分でやってみたい」「どうしたらいいのかな？」など、自分で考えたり立ち止まったりすることは、一見遠回りのように見えるが、自分を振り返るきっかけとなる。  
“自分で作り出す力”をつけていってほしい。
- 保護者が子どもとふれあう時間を大切にしていると思う。今年の子どもたちは、大人とのかかわりを求めていると感じることがある。小、中学生でも、大人に「見て見て！」という姿が見られる。大人の見守りの中で、安心して友達と関わっているのではないだろうか。
- PTA 役員を経験したので、なくなってしまうことは、寂しいと感じる。PTA は幼稚園や小学校から相談をしたり、共に考えたり、時には後押ししてくれる心強い存在である。組織がなくなれば、そのようなことができなくなる。しかし、保護者の負担感も理解できる。今後は活動内容などスリム化し、誰でもが継続してできる内容にしていくのがよいのではないだろうか。
- コロナにより、様々な生活が制限されているが、徐々に緩和され、地域行事なども行われている。今まで経験していなかったことを経験し、その経験が繋がっていくことは大きなことである。地域行事等で、大人が一生懸命走る姿などを見ることができたのは、子どもにとってよい機会だったと思う。
- 小学校との交流が再開され、お互いに育つきっかけになっている。地域の中の学校園が手を取りあい、子どもたちの育ちを支えていきたい。
- 教師が子どもの発信していることをキャッチする力を高めていってほしい。
- 子どもが、いかに好きなものを見つけるかを支えるのが教師の役割である。「好きなことが大好きになる」と子どもはそのことをやめようとしな。好きなことに夢中になって取り組む気持ちを育てていきたい。
- 子どもにはいつまでもピュアいてほしい。『自分がやってみたいという気持ち』『チャレンジする気持ち』を持ち続けてほしいと思う。

